

科目名	スポーツ外傷・障害の基礎知識 2						年度	2026	
英語科目名	Introduction to Sport Injuries and Pathologies 2						学期	通年	
学科・学年	スポーツトレーナー科 2年次	必/選	選 1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	安・長谷川	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スポーツドクター		
【科目の目的】 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーとして働くために必要な知識を身につける勉強をしていきます。 本講義では日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが行う、選手の動作の運動学的観察、スポーツ障害の評価、アスレティックリハビリテーションなどのトレーナー活動に最低限必要な人体の構造と機能について理解します。そのために運動器の骨、筋、靭帯、関節、神経支配と身体運動とを関連づけて学習することとします。									
【科目の概要】 スポーツで起こりうる外傷全般と年齢・性別によるスポーツ障害の特徴、それに対する整形外科的メディカルチェックについて学びます。									
【到達目標】 まずは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー理論試験の「スポーツ外傷・障害の基礎知識」領域の問題が解けるレベルまで知識を増やし、傷害評価や救急処置、アスレティックリハビリテーションの指導まで出来るようになることを目標とします。 A: 上肢・下肢についての理解 B: 体幹についての理解 C: 重篤な怪我・年代-性別による怪我についての理解									
【授業の注意点】 授業時には必ずテキストを準備してください。わからない部分はその都度質問をしてください。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 もう少し	
到達目標 A	理解と暗記が出来ている 90点以上			理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上				理解している 60点以下	
到達目標 B	理解と暗記が出来ている 90点以上			理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上				理解している 60点以下	
到達目標 C	理解と暗記が出来ている 90点以上			理解と概ねの暗記が出来ている 75点以上				理解している 60点以下	
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト/授業内容に合わせて資料を配布									
【参考資料】 配布プリント									
【成績の評価方法・評価基準】 レポート課題・筆記試験・平常点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		スポーツ外傷・障害の基礎知識 2			年度	2026
英語表記		Introduction to Sport Injuries and Pathologies 2			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1 2	上肢の怪我	上肢の外傷・障害の病態理解	肩関節の外傷・障害	1 肩関節前方脱臼について	1	
				2 腱板損傷について		
				3 肩鎖関節脱臼について		
				4 投球障害について		
				5 肘の外傷・障害		
				6 手関節・手指の外傷・障害		
3 4	体幹の怪我	体幹の外傷・障害の病態理解	体幹の外傷・障害	1 頸椎捻挫について	1	
				2 バーナー症候群について		
				3 頸椎ヘルニアについて		
				4 腰椎椎間板ヘルニアについて		
				5 腰椎分離症について		
				6 筋・筋膜性腰痛について		
5 6 7 8	下肢の怪我	下肢の外傷・障害の病態理解	下肢の外傷・障害	1 肉離れ・打撲について	1	
				2 膝関節ACL・PCL・MCL損傷について		
				3 膝半月板損傷等について		
				4 膝蓋骨脱臼・アキレス腱炎などについて	1	
				5 下腸脛靭帯炎・、鷲足炎などについて		
				6 膝蓋大腿関節障害などについて	1	
				7 腓腹筋肉離れ、アキレス腱断裂について		
				8 過剰骨障害などについて		
				9 疲労骨折・偏平足などについて	1	
				10 足関節捻挫について		
				11 その他、外傷・障害について	1	
9	重篤な怪我	重篤な外傷の病態理解	重篤な外傷	1 頭部外傷について	1	
10				2 脊髄損傷について	1	
11				3 大出血を伴う怪我について	1	
12	年代・性別による怪我	年代・性別による怪我の理解	年代・性別による怪我について	1 女性の怪我について	1	
13				2 高齢者の怪我について	1	
14				3 発育期の怪我について	1	
15				4 年代別・性別の怪我について	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等